

# 兜

めざせ！  
明智光秀

作ってみよう！



2020年8月

発行：大津市歴史博物館

## 明智光秀と大津



明智光秀は16世紀前半に、美濃国（岐阜県）で生まれたといわれているよ。光秀に関する資料が少ないので、謎の多い人なんだ。

28歳のころ、戦で明智城が陥落して命からがら美濃を脱出。浪人となって各地を転々とした後に、織田信長に仕えることになったんだ。

43歳のころ、信長対浅井・朝倉軍の衝突「志賀の陣」が起きたんだ。その後、光秀は宇佐山城（大津市南滋賀）の城主となったよ。信長の比叡山焼討ちの後に、光秀はその活躍が認められ志賀郡一帯の支配を任せられたんだ。そして、坂本城（大津市下坂本）を築城し、城主になったよ。琵琶湖のほとりに建つ坂本城は、たいそう立派で美しい城だったと伝えられているよ。

大津での光秀の活躍を陰で支えた妻照子を、光秀はとても大切にしていたという言い伝えがあるよ。同じように光秀は家臣や城下の人々も大切にしていたんだ。光秀は、知識人で剣や鉄砲の腕もたつ、優れた武将だったんだよ。

## 兜（かぶと）ってどんなもの？

兜（かぶと）は、武士が戦場に行く時に身につけた防具で、頭を守るヘルメットだよ。ほとんどが鉄でできていて、たまに青銅製の物もあったんだ。戦国時代は戦がどんどん激しくなっていたので、それに合わせて兜（かぶと）もより強い形に変わっていったよ。

室町時代に流行っていた兜（かぶと）の形は、「阿古陀形（あこたなり）」という筋兜（すじかぶと）。頭を覆う部分の兜鉢（かぶとばち）が、阿古陀瓜というウリの形に似ているのでそう名付けられたんだ。ふくらみが大きいので通気性が良く、外からの衝撃にも強かったんだ。兜鉢は、「縦矧板（たてはぎいた）」という鉄の板を何十枚も合わせて半球状にしているよ。

また、兜（かぶと）は単なる防具ではなく、戦場の晴れ着でもあったんだ。だから、美術工芸品のような美しいかざりが付いていたんだよ。

### たてもの立物

（頭を守るかざり）  
※この兜は立物を前面に付けているので「前立（まえだて）」と呼ぶ。

### ざ座

（頭のでっぺんの金具部分）  
※中央は穴があいている。

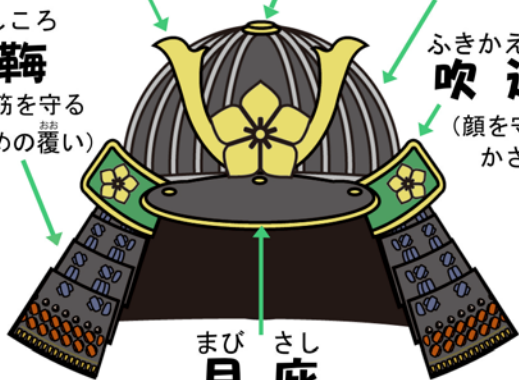
### かぶとばち兜鉢

（頭を覆う半球状の部分）

ふきかえし吹返  
（顔を守るかざり）

しころ鞆  
（首筋を守るための覆い）

まびさし目庇  
（額を守り雨や日差しを遮るためのもの）



※参考資料…『図録 日本の甲冑武具事典』笹間良彦 著 1989年5月25日 第3刷発行

## 兜（かぶと）を作ってみよう！

### 1 がんばろう！

印刷した型紙7枚をハサミなどですべてキレイに切る。

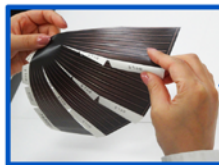
★ハサミでケガをしないように気をつけてね！



### 2 むずかしい？

かぶとばちA・B・Cののりしろを折り曲げはりつける。

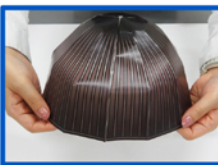
★のりづけが難しければセロテープや両面テープでもOK。



### 3 できたかな？

かぶとばちA・B・Cの3つのパーツをつなげて半球状にする。

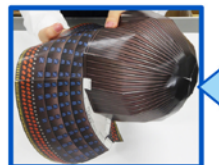
★とれそうだったら裏からセロテープをはってね。



### 4 くっつけよう

しころパーツをつなげたら、かぶとばちとつなぎあわせる。

★先に後ろの中心どうしをとめるとかんたんだよ。



### 5 がざりだよ

ふきかえしパーツを作り、しころ両端にはりつける。

★ふきかえしはまるく立体的につけるといいね！



### 6 あとすこし…

まびさしパーツを作り、かぶとばち正面中央にとりつける。

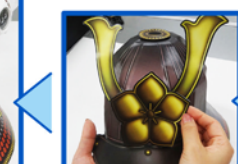
★カブトの形ができあがってきたね！



### 7 かっこいい～

たてものとのパーツを作り、それぞれはりつける。

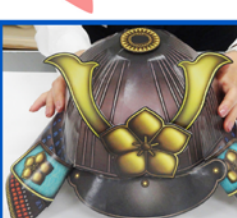
★とりつけはセロテープではると強くなるよ。



### 8 できあがり！

やったね！

★かざったりかぶったりしてあそんでね。



ワンポイントアドバイス  
型紙を画用紙に貼ってから作るとしっかりするよ。

オリジナルカラーのカブトに挑戦☆  
白黒の型紙にクレパスやペンで色をぬってみてね。

かぶとができたら、ツイッターに#遊ぼう大津れきはくのハッシュタグをつけてぜひ投稿してね！



オリジナルカブトだよ！

※この兜は明智光秀をイメージしたオリジナルデザインです。